

09-058

日時：平成 21 年 10 月 30 日（金）19：00～20：30；舞鶴市西駅交流センター(舞鶴市)
参加人数：32(30)人 分類：検体検査 学会関係 20 点

主題：血液形態検査標準化について

講師：久保田 浩 先生（大阪市立大学医学部付属病院 中央検査部）

血液形態検査の標準化は、1996 年 日臨技血液形態検査標準化ワーキンググループが発足し、2004 年より本格的に日本検査血液学会 血液形態標準化小委員会によって進められてきた。そして現在までに好中球(桿状核、分葉核)・リンパ球と異型リンパ球の鑑別、赤血球形態、幼若顆粒球、好酸球、好塩基球、赤芽球系細胞の血液形態標準化小委員会案が発案されている。委員の一員でもある久保田先生に、実際に議論された細胞や話題を交えながら、多くの細胞のスライドを見せて頂き、分類するにあたってのポイントなどを教えて頂いた。

平成 21 年 12 月 04 日報告：尾松 久美（市立福知山市民病院）